

国営施設応急対策事業 「宮古地区」の完工

～安定した農業用水の供給に向けて～

沖縄総合事務局農林水産部が平成29年度から取り組んでいた、国営施設応急対策事業「宮古地区」が、今年3月末で完工しました。



【事業概要】

関係市町	沖縄県宮古島市
事業工期	平成29年度～令和2年度
総事業費	13億円
受益面積	985ha(畑985ha)
主要工事	農業用水路(改修) 6路線 L=6.8km

国営宮古土地改良事業(昭和62年度～平成12年度)等により基幹的な農業水利施設が整備された宮古島では、農業用水を利用した営農の開始によつて亜熱帯農業の環境が飛躍的に改善され、さとうきびの作型転換やさとうきびから園芸作物(野菜・熱帯果樹等)への転換が進みました。

しかしながら、近年、農業用水路の破損による漏水等の不測の事態が頻繁に発生し、農業用水の安定供給に支障を来すとともに、施設の維持管理に多大な労力を要していました。さらに、道路の陥没や湛水により地域住民生活への影響も懸念されていました。

これらの課題を解消するため、沖縄総合事務局農林水産部では、平成29年度から国営施設応急対策事業により、破損事故が発生している6路線の農業用水路を既設の硬質塩化ビニル管からダクタイル鋳鉄管へ改修する工事を実施し、令和2年12月に全ての改修工事が完了したことから、今年3月末で本事業を完工しました。



ダクタイル鋳鉄管への改修工事の様子

本事業の完工により、農業用水の安定供給と施設の維持管理に係る費用・労力の軽減が図られ、宮古島の農業のより一層の発展が期待されます。また、道路陥没や湛水のおそれなくなり、安全・安心な地域住民生活の実現にもつながります。



受益地のさとうきび畑に水をまくスプリンクラー

お問合せ先
農林水産部 農村振興課
土地改良総合事務所

☎ 098-856-6868